

障がいのある職員による特別支援学級生徒への指導

広島大学では、19人の障がいのある職員が、人事グループ環境担当チームに所属し、東広島、霞、東千田の3キャンパスと附属学校園東雲地区、翠地区で学習環境創りや清掃業務に携わっています。

このうち、東広島キャンパス教育学部で働く人事グループ環境担当チームの指導員で、障がいのある職員が、6月21日、22日、25日、26日に行われた、附属東雲中学校特別支援学級の生徒の職場体験学習において、清掃のプロとして生徒を指導しました。

本学では、4年前から、本学附属東雲中学校特別支援学級に在籍する生徒に対し、職業体験学習を行っています。

この職業体験学習は、東広島キャンパスの教育学部と中央図書館を会場に、本学大学院教育学研究科特別支援教育学講座と同附属特別支援教育実践センターの支援によって実施しています。

昨年度から、障害のある人々の就職率低迷を打破するために、広島県特別支援学校技能検定等が導入されたことにより、障がいのある人々の技能が高くなり、中学生の時代から本格的な技能の習得、あるいは間違った「くせ」を付けないために、本格的な指導を受ける必要が出てきました。

そこで、今回から、障がいのある職員による指導を実施したところ、生徒にとっては、専門的な技術を身につける大事な場となり、また、体験学習を支援する本学の学生にとっても、貴重な経験となりました。

本学では、他の特別支援学校の生徒の職業体験や、本学学生の介護等体験を学内の施設で行っており、東広島キャンパス教育学部で働く障がいのある職員による指導を、それらの体験にも導入していく予定です。

(今後東広島キャンパスで行われる予定の職業体験学習)

○東広島市内中学校特別支援学級生徒(予定)

：平成24年9月20日(月)から25日(火)、

○黒瀬特別支援学校(広島大学生の介護等体験実習)

：平成24年10月2・3・16・17日、11月13・14日

【お問い合わせ先】

大学院教育学研究科  
特別支援教育学講座 落合研究室  
TEL:082-424-7177、FAX:082-424-7177